



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トラスト

コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 誠英

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 長谷川 克彦

TEL 052-219-9058

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,788	25.1	787	22.6	788	30.8	290	47.2
24年3月期第3四半期	7,825	38.2	642	△4.4	602	△5.0	197	△9.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 469百万円 (50.7%) 24年3月期第3四半期 311百万円 (△15.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1,123.23	—
24年3月期第3四半期	762.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	14,624	4,560	26.7	15,081.02
24年3月期	14,528	4,141	25.2	14,148.25

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,902百万円 24年3月期 3,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	100.00	—	100.00	200.00
25年3月期	—	100.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,940	23.9	1,181	30.5	1,070	26.6	388	43.1	1,501.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	281,500 株	24年3月期	281,500 株
25年3月期3Q	22,731 株	24年3月期	22,731 株
25年3月期3Q	258,769 株	24年3月期3Q	258,769 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金による個人消費の増加により景気に緩やかな回復の兆しがみられており、12月以降は新政権の経済政策への期待から円安・株高が進捗し、将来的な景況感の改善がみられました。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で為替リスクなく安定的な成長を続けるレンタカー事業、成長著しい南アフリカにて海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。また、レンタカー事業のレンタル車輦及び海外自動車ディーラー事業の中古車在庫を、中古車輸出事業のWEBサイトを通じて販売するなど、グループシナジーを創出しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高9,788百万円(前年同期比25.1%増)、営業利益787百万円(前年同期比22.6%増)、経常利益788百万円(前年同期比30.8%増)、四半期純利益290百万円(前年同期比47.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(中古車輸出事業)

中古車輸出業界では、ミャンマーの輸入規制緩和、その他地域においても旺盛な需要により、2012年の輸出台数が2008年以来5年ぶりに100万台を超え、また円安も進行し業界全体の景況感は回復してきております。

このような状況のなか、当社グループは、メインマーケットであるアフリカ地域において、現地エージェントとの提携により対面でのアフターサービスを行うカスタマーサービスセンターを1店舗新規開設し合計4店舗とし、また、沿岸主要港から内陸主要都市への中古車陸送を代行手配するルートを1ルート新規開設し合計7ルートとするなど、顧客満足度の向上に努めました。

当社グループの輸出台数は、オセアニア地域及び規制緩和のあった一部のアジア地域が増加し、その他地域においても好調に推移したため、合計5,950台(前年同期比16.0%増)となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高3,458百万円(前年同期比13.8%増)、営業利益173百万円(前年同期比140.3%増)となりました。

(レンタカー事業)

レンタカー業界全体では、行楽シーズンが好天に恵まれたことにより個人需要が好調に推移し、また、レンタカー需要の高まりを受け事業者及び登録台数ともに増加しております。

このような状況のなか、当社グループは、TVCMを継続的に放映するとともに、顧客満足度向上のための施策を実施することにより、個人顧客の獲得に注力いたしました。また、直営店の蕨店(埼玉県)、関店(岐阜県)、北上尾駅前店(埼玉県)、FC店の甲斐店(山梨県)、小山喜沢店(栃木県)、徳島店を新規出店し、直営店及びFC店の総店舗数は100店、総保有台数は9,605台(前年同期比9.9%増)となりました。さらに、車輦の販売台数は665台(前年同期比33.3%増)となり好調に推移いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高4,235百万円(前年同期比12.6%増)、営業利益613百万円(前年同期比1.1%増)となりました。

(海外自動車ディーラー事業)

南アフリカ共和国の新車販売台数は、旺盛な個人消費のもと2桁成長で推移しております。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国の首都プレトリア市においてプジョーディーラー1店舗、ヨハネスブルグ市においてスズキディーラー2店舗、ケープタウン市近郊においてフィアット・アルファロメオディーラー1店舗、スズキディーラー1店舗の合計5店舗を運営しております。新車販売台数は合計516台(前年同期比53.6%増、内訳：プジョー106台、フィアット56台、アルファロメオ14台、スズキ340台)、中古車販売台数は合計950台(前年同期比138.1%増)と順調に推移しております。現在、親会社であり自動車ディーラー再生のノウハウを持つVTホールディングス株式会社の協力のもと、全店舗黒字化に向けて経営改善を行っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高2,231百万円(前年同期比88.1%増)、営業利益7百万円(前年同期は34百万円の営業損失)となりました。

※スズキディーラーを運営する、SKY ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDの前連結会計年度の連結対象期間は、平成23年10月1日から平成24年3月31日であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.8%減少し、6,441百万円となりました。これは、現金及び預金が323百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.5%増加し、8,183百万円となりました。これは、リース資産(純額)が339百万円増加したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、14,624百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.7%減少し、7,681百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が129百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.3%減少し、2,383百万円となりました。これは、長期借入金が201百万円減少したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて10.1%増加し、4,560百万円となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ322百万円減少し、599百万円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は1,771百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益788百万円、減価償却費1,433百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は361百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出337百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は1,727万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出1,367百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

中古車輸出事業につきましては、継続的に各国の現地エージェントとの新規提携を推進し、現地でのアフターサービスの充実を図り、売上の拡大及び顧客満足度の向上に努めてまいります。

レンタカー事業につきましては、継続的に直営・F Cの空白地域への新規出店を推進し、全国展開を目指してまいります。

海外自動車ディーラー事業につきましては、既存店舗の収益改善を継続的に行い売上の拡大及び利益率の向上を図ってまいります。

なお、平成24年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。今後、何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	922,568	599,113
受取手形及び売掛金	814,387	848,538
リース債権及びリース投資資産	3,498,519	3,519,825
商品及び製品	994,671	969,916
仕掛品	507	1,991
原材料及び貯蔵品	12,352	13,549
その他	536,080	499,270
貸倒引当金	△10,628	△10,911
流動資産合計	6,768,459	6,441,292
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	3,320,258	3,659,992
土地	2,846,640	2,846,640
その他（純額）	890,132	989,078
有形固定資産合計	7,057,032	7,495,712
無形固定資産		
のれん	125,166	118,986
その他	112,876	112,189
無形固定資産合計	238,042	231,175
投資その他の資産		
その他	491,364	485,071
貸倒引当金	△26,655	△28,468
投資その他の資産合計	464,708	456,602
固定資産合計	7,759,784	8,183,490
資産合計	14,528,243	14,624,783
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	624,037	494,750
短期借入金	1,094,600	1,040,000
1年内返済予定の長期借入金	290,684	253,547
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	4,967,111	5,176,569
未払法人税等	194,894	132,494
賞与引当金	63,367	39,779
資産除去債務	254	—
その他	631,345	513,879
流動負債合計	7,896,295	7,681,020
固定負債		
社債	80,000	65,000
長期借入金	395,976	194,000
リース債務	1,990,361	2,095,919
役員退職慰労引当金	4,616	5,844
資産除去債務	11,170	12,972
その他	7,831	9,876
固定負債合計	2,489,955	2,383,612
負債合計	10,386,251	10,064,632

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	1,752,958	1,991,862
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	3,658,549	3,897,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,243	8,211
為替換算調整勘定	△663	△3,163
その他の包括利益累計額合計	2,579	5,048
少数株主持分	480,863	657,648
純資産合計	4,141,992	4,560,150
負債純資産合計	14,528,243	14,624,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	7,825,013	9,788,481
売上原価	5,374,748	6,960,710
売上総利益	2,450,264	2,827,771
販売費及び一般管理費	1,807,634	2,040,106
営業利益	642,630	787,665
営業外収益		
受取利息	2,435	2,902
受取配当金	6,494	6,898
為替差益	3,960	—
補助金収入	—	62,910
貸倒引当金戻入額	7,176	—
その他	23,503	19,766
営業外収益合計	43,571	92,477
営業外費用		
支払利息	71,223	76,671
為替差損	—	2,149
その他	12,165	12,984
営業外費用合計	83,388	91,804
経常利益	602,812	788,338
特別利益		
投資有価証券売却益	7,660	—
貸倒引当金戻入額	2,784	458
助成金収入	4,034	3,981
特別利益合計	14,478	4,440
特別損失		
固定資産売却損	214	—
固定資産除却損	—	3,070
投資有価証券評価損	535	—
投資有価証券償還損	—	814
その他	—	99
特別損失合計	750	3,984
税金等調整前四半期純利益	616,541	788,794
法人税、住民税及び事業税	236,527	305,031
法人税等調整額	49,456	14,768
法人税等合計	285,984	319,800
少数株主損益調整前四半期純利益	330,557	468,994
少数株主利益	133,152	178,336
四半期純利益	197,405	290,658

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	330,557	468,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,222	5,022
為替換算調整勘定	△7,568	△4,105
その他の包括利益合計	△18,790	917
四半期包括利益	311,766	469,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,458	293,126
少数株主に係る四半期包括利益	132,308	176,785

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	616,541	788,794
減価償却費	1,153,969	1,433,735
のれん償却額	4,659	4,918
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20,147	2,096
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△28,875	△23,587
受取利息及び受取配当金	△8,929	△9,801
支払利息	71,223	76,671
為替差損益 (△は益)	3,386	△285
固定資産売却損益 (△は益)	214	—
固定資産除却損	—	3,070
投資有価証券売却損益 (△は益)	△7,660	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	535	—
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	814
売上債権の増減額 (△は増加)	△110,541	△40,333
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△34,513	148,059
仕入債務の増減額 (△は減少)	73,330	△106,815
未払消費税等の増減額 (△は減少)	93,467	5,536
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△50,152	△35,218
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	228,925	△31,810
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	43,357	1,203
その他	1,275	1,123
小計	2,030,067	2,218,172
利息及び配当金の受取額	9,856	10,196
利息の支払額	△71,197	△75,272
法人税等の支払額	△375,405	△381,829
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,593,320	1,771,267
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△186,967	△337,757
有形固定資産の売却による収入	8	221
無形固定資産の取得による支出	△62,287	△22,584
投資有価証券の売却による収入	8,660	6,117
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△22,395	—
子会社株式の売却による収入	10,200	—
貸付けによる支出	△63,536	△13,205
貸付金の回収による収入	37,522	17,549
敷金及び保証金の差入による支出	△7,645	△16,909
敷金及び保証金の回収による収入	4,864	5,814
その他	△475	△440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△282,051	△361,194

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△62,301	△54,600
長期借入れによる収入	250,000	—
長期借入金の返済による支出	△244,313	△239,113
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
少数株主からの払込みによる収入	10,718	—
配当金の支払額	△51,189	△51,122
リース債務の返済による支出	△1,106,514	△1,367,739
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,218,600	△1,727,574
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,934	△5,953
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	90,733	△323,454
現金及び現金同等物の期首残高	849,118	922,568
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	7,495	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	947,347	599,113

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業(注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	3,017,554	3,621,603	1,185,855	7,825,013	—	7,825,013
セグメント間の 内部売上高又は振替高	19,985	139,745	—	159,731	△159,731	—
計	3,037,540	3,761,348	1,185,855	7,984,744	△159,731	7,825,013
セグメント利益又は損失(△)	72,321	607,039	△34,987	644,373	△1,742	642,630

- (注) 1. 第1四半期連結会計期間より、子会社であるTRUST ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDを新たに連結の範囲に含めたため、海外自動車ディーラー事業が追加となりました。また、SKY ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDを子会社化し、当第3四半期連結会計期間より新たに連結の範囲に含めております。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,742千円には、のれん償却額△4,659千円、棚卸資産の調整額2,916千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より子会社であるTRUST ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDを、当第3四半期連結会計期間より、SKY ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDを新たに連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、25,882千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,452,757	4,104,658	2,231,066	9,788,481	—	9,788,481
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,268	131,035	—	136,303	△136,303	—
計	3,458,025	4,235,694	2,231,066	9,924,785	△136,303	9,788,481
セグメント利益	173,800	613,520	7,746	795,067	△7,402	787,665

(注) 1. セグメント利益の調整額△7,402千円には、のれん償却額△4,918千円、棚卸資産の調整額△2,715千円、その他の調整額231千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。